

令和4年度 事業報告

幸区社会福祉協議会

川崎市幸区社会福祉協議会 令和4年度 事業報告

◆重点事業◆

1 「第5期幸区地域福祉活動計画」に沿った事業の実施

令和3年度から3年間の計画期間、中間年度の取り組みとなりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止した事業を、感染症予防対策を徹底しながら再開しました。

2 住民交流活動拠点の円滑な運営

区内3か所で展開している「陽だまり」の運営を行いました。感染症予防対策を継続しながら、休止していた活動を徐々に再開させました。幅広い世代に利用してもらうための広報を兼ねたイベントも、実施することが出来ました。

3 福祉教育への取り組み強化

学校の総合的な時間に、講師として参加したほか、講師派遣の調整をしました。感染予防対策を講じながら、地区社協、地区民児協をはじめとした地域の方と一緒に学校に出向き、地域活動の紹介も行いました。

疑似体験グッズの貸し出しや団体の紹介等を通して福祉の理解につながるよう努めました。

4 総合相談事業の実施体制の整備

老人いこいの家や、陽だまり等の地域拠点も含め、住民から寄せられる様々な相談をしっかりと受け止め、関係機関等と連携し解決につなげられるように努めました。

地域の大学生を対象とした食料支援は、地元地域や企業と連携し継続して実施しました。

5 安定財源確保と啓発強化

広報紙による寄附の呼びかけを行いました。あわせて、寄附の使い道が分かるように工夫し広報しました。社会福祉大会や、プラザ祭りの開催時には、区社協・地区社協の活動を紹介する展示や、広報を行い啓発に努めました。

事業報告の内容

幸区社会福祉協議会 事業費【50,227千円】

【サービス区分事業活動支出 34,117千円】

【共同募金配分金 16,110千円】

1 幸区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、運営協議会の開催

ア 常任委員会の開催 3回（6月1日、9月1日、2月14日）

イ 運営協議会の開催 1回（3月22日）

(2) 各種委員会の開催

ア 機関紙編集委員会 4回（6月20日、9月16日、12月15日、3月8日）

イ ボランティア運営委員会 2回（6月23日、3月13日）

(3) 自主財源の確保

寄附金品の受入れ寄附金 延21件 455,000円／寄附品 延3件)

(4) 会員の増強、賛助会員・協賛会員の募集

令和4年度会員

	R4実績	R3実績
正会員数	109	113
賛助会員数	4,636	4,827

(5) 社会福祉士相談援助実習の受け入れ

社会福祉士相談援助実習 1名

老年看護学実習 24名

2 調査・研究事業

(1) 「第5期地域福祉活動計画」に沿った取り組みの実施

第5期地域福祉計画に基づき事業を実施しました。

(2) 次期地域福祉活動計画策定に向けた市社協・区社協間での調整

(3) 安定した事業運営のための財源確保及び組織体制の検討

令和3年度に検討した積算方法に基づき助成金等の配分を行った。

3 研修事業

(1) 常任委員会委員及び運営協議会委員研修会の開催

常任委員会を対象とした研修会の開催 1回（3月14日）

4 企画・広報事業

(1) 川崎市幸区社会福祉大会の開催

区内で社会福祉に功労のあった方へ表彰状・感謝状の贈呈（9月22日）

(2) 広報紙「幸区の社会福祉」の発行

機関紙「幸区の社会福祉」 年4回、各55,000部発行

回覧または全戸配付

(3) 「幸区社協通信」の発行

情報紙「幸区社協通信」の発行 月1回、550部発行

(4) 区社協ホームページでの情報提供の充実強化

ホームページでの情報発信

幸区社会福祉協議会 ホームページ (<http://www.saiwaiku-shakyo.jp/>)

5 地域福祉活動事業

(1) 地区社協との連携

地区社協の定例会等に地域担当職員が出席し情報の共有を図った。また、活動への協力、支援を行った。

(2) 子育て支援事業や会食会等への支援

地区社協等が実施している事業に対し共同募金を財源とした支援を実施。

(3) 地区社協連絡会議の開催

地区社協会長連絡会 1回（6月17日）

(4) 住民活動交流拠点（陽だまり3か所）の運営

小倉の駅舎陽だまり、塚越の陽だまり、河原町の陽だまりの3か所について、各運営委員会と協力し運営。

(5) シニア向けいきがづくり・介護予防事業の実施

河原町の陽だまりにおいて、委託を受け事業を実施。健康講座12回、終活講座11回、スマホ相談会23回、スマホの使い方講座6回、居場所づくり事業7回

(6) 総合相談事業の体制整備

福祉パルのほか、老人いこいの家や陽だまり等の拠点において、利用者からの相談の聞き取りと関係機関等の情報を提供。

(7) 相談を通じた住民の福祉ニーズの把握

年間総相談件数 824件

(8) 移送サービス事業の実施

登録会員 6名 年間利用件数 82件 登録ボランティア 17名

(9) 車いすの貸出

区民への車いす無料貸出 162件

学校への貸出 4件

(10) 高齢者疑似体験グッズ等の福祉用具の貸し出し

ア 小学校への貸し出し 7校

イ その他地域団体への貸し出し 1件

(11) 福祉用具のリサイクル

ア 譲りたい要望 0件

イ 譲ってほしい要望 1件

ウ 譲渡成立件数 0件

(12) 障害者関係等団体との協働

幸区精神保健福祉連絡会に参画し、メンタルヘルス講座を2度開催

(13) 区内障害者施設関係者との情報交換の実施

川崎市幸区社会福祉大会、プラザ祭りの活動紹介についての打合せ及び情報交換を実施

(14) 子育て支援に関する啓発事業

ア 広報紙等による子育て支援に関する情報提供に協力

イ 幸区子ども総合支援ネットワーク会議に参画し子ども情報ネットさいわいの編集、発行に協力（46号、47号、48号を発行）

(15) 「みんなで子育てフェアさいわい」への参加・協力

ア 部会出席 4回（7月1日、8月23日、9月16日、12月9日）

イ みんなで子育てフェアさいわい

「外に飛び出そう！みんなで子育てフェアさいわい」としてデジタルスタンプラリーを開催（10月15日～11月6日）

(16) プラザ祭りの開催

さいわい健康福祉プラザにおいて、老人福祉センター、子ども文化センターと協働でプラザ祭りを実施。共催団体の作品や活動を紹介する展示や、工作や体験ができるコーナー等を設置し開催した。（10月15日・16日）

(17) 区内の生活困窮者支援の一環として食料や日用品の配布を実施

食料支援かわさきの拠点として28件対応

学生向けの食料支援を実施（12月23日 延べ70件／窓口での対応36件）

6 団体等助成事業

(1) 地区社会福祉協議会への助成

地域福祉活動費 計 5,565,600円

(2) 高齢者ふれあい活動実施団体への助成

会食活動に助成 21団体 計 2,345,407円

配食活動に助成 1団体 計 140,000円

ミニデイサービス活動に助成 3団体 計 319,000円

(3) 幸区民生委員児童委員協議会への助成

幸区民児協育成費 計 160,000円

(4) 社会を明るくする運動等への助成

社会を明るくする運動 50,000円

リレーカーニバル 25,000円

幸区民祭協賛 50,000円

幸区ボッチャ大会への協賛 10,000円

7 共同募金事業

(1) 共同募金会が実施する共同募金運動(年末たすけあい運動含む)に協力

(2) 共同募金配分金を財源とした事業の実施

年末慰問金配布 340世帯・計 1,700,000円

年末慰問品配布(お茶) 2,810世帯・計 1,760,184円

会食・配食・ミニデイ実施団体助成 23団体 計 460,000円

子育て支援事業実施団体助成 7団体 計 350,000円

当事者団体活動助成 1団体 50,000円

ボランティアグループ活動助成 10団体 415,000円

8 福祉パル管理運営事業

(1) 研修室およびボランティアコーナーの貸出し

研修室 382件、ボランティアコーナー 133件

(2) 地域福祉活動に必要な印刷機等の機材、機器の貸出し

(3) 情報コーナーの設置によるチラシ・ポスター等の掲示

9 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

ア 区内貸付決定件数	8件
イ 区内特例貸付申請件数	240件

10 ボランティア活動振興事業

(1) ボランティアセンターの運営

(2) ボランティアセンター運営委員会の開催

運営委員会 2回（6月23日、3月13日）

(3) ボランティア等に関する相談と調整、情報収集と提供

ア ボランティア活動希望への相談・情報提供	33件（令和3年度 37件）
イ ボランティア募集の依頼	13件（令和3年度 22件）
ウ ボランティアによる支援	8件（令和3年度 2件）

(4) 人材の育成、講座の開催

ア ボランティア講座の開催 1回（2月20日） 参加者 18名

イ ボランティア活動パワーアップセミナーの開催

移送ボランティアフォローアップ研修（2月15日） 参加者23名

(5) ボランティア情報の発信

(6) 交流会の実施

ア 移送ボランティア交流会（2月15日）参加者15名

イ ボランティア交流会（3月13日）参加者53名

(7) 福祉教育の推進

ア 福祉教育に関する相談 9件（小学校 8件、地域団体 1件）

イ チャレボラ2022 全5プログラム実施、15名参加

(8) ボランティア保険の受付

令和4年度保険加入件数 372件

11 幸区あんしんセンター事業

援助が必要な高齢者や障害者が、地域の中で自立した生活を送ることができるよう、関係機関と密に連携を図りながら事業を実施した。

(1) 日常生活自立支援事業に関わる相談

相談件数 732件（初回相談51件、継続相談681件）

（※令和3年度相談件数 744件/初回相談50件、継続相談694件）

(2) 成年後見制度の概要や申立手続きに関わる相談

相談件数 295件（初回相談98件、継続相談197件）

(※令和3年度相談件数 162件/初回相談62件、継続相談100件)

1.2 老人いこいの家運営等事業

年間利用者数 45,768名

総合相談窓口 利用者からの聞き取りにより助言や関係機関を案内した。

適切な管理 不良個所の迅速な修繕、管理人による日常的な点検。緊急時対応マニュアル、土砂災害対応マニュアルの見直し。避難訓練の実施。各施設年2回。

教養講座 20講座 年322回開催

入浴事業 入浴事業実施回数 377回

老人いこいの家まつりの開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、まつりは中止。代替として作品展を開催（多世代・地域交流事業と同時開催）。踊りや歌などの、舞台発表が出来ないため、団体ごとに録画した活動をテレビ等で流し、来場者に見てもらった。

多世代・地域交流事業の実施 老人いこいの家利用者の作品とこども文化センターやわくわくプラザ、近隣保育園や小学校のこども達の作品を一緒に展示する作品展を開催（老人いこいの家まつり代替事業と同時開催）。また、こども文化センターとボッチャやマンカラなどを一緒に楽しむ日を設けたほか、近隣保育園の園児とハロウィンのプレゼント交換を行い利用者で交流した。

老人いこいの家運営委員会の開催 13回（10月11日、11月1日、11月14日、11月16日、11月18日、12月13日、12月15日、1月10日、1月11日、1月16日※2カ所開催、3月9日、3月17日）

1.3 公益事業

(1) 高齢者外出支援事業（高齢者フリーパス交付）の実施

販売実績 延べ4,786件

1.4 災害活動関連事業

(1) 災害時におけるボランティアセンターの役割について検討

1 5 団体事務

関係する団体の事務局として運営・活動の支援協力を行った。

(1) 神奈川県共同募金会幸区支会への協力

- ア 募金実績 一般募金 12,879,632円 達成率 80.8%
年末たすけあい募金 8,821,728円 達成率 81.7%
- イ 区支会委員会の実施 3回（5月20日、6月17日、1月18日）

(2) 幸区民生委員児童委員協議会

幸区民児協の事務局として、研修会の開催やその他各種会議等に協力。

1 6 その他

(1) 幸区制 50 周年記念事業に参加協力

幸区制 50 周年を記念した「幸 50 祭」のイベント開催時に、老人福祉センター、こども文化センターと協働し「幸 50 祭」プラザでもやっているよ！と題し、プレプラザ祭りを実施。（6月4日）

(2) 川崎市社会福祉協議会の事業に協力

「老人福祉（・地域交流）センター」の指定管理運営事業について、市社協と区社協が協働、連携して適正な管理運営を実施。

年間利用者数 28,599名

相談事業 健康相談 月4回 内科医、整形外科医が交代で実施

生活相談 随時対応（看護師による健康相談・血圧測定実施）

講座 21講座実施

行事 踊ろう会、手仕事の会、スマホ・タブレットなんでも相談会、ラジオ体操・脳トレ、おもいを伝えるエンディングノート、菖蒲湯、七夕飾り、歴史を訪ねて「東海道五十三次」～日本橋～、コグニサイズ、介護保険の基礎知識、ボッチャ体験会、寝たきり予防セミナー、敬老のつどい、ボッチャ審判講習会、プラザまつり 幸区ボッチャ大会、健康長寿の秘訣、秋の散策「市日本民家園」、秋の防災講座 内科講演「頻尿や尿漏れ」、柚子湯、終活セミナー「エンディングノートの書き方」、新春書初め、節分豆まき、幸ハッピーフェスティバル（幸こども文化センター行事に参加）、歩行測定団さいわい